



RESCUE FIGHTERS

2006 SAPPORO

**第35回
全国消防救助技術大会**

主催 財団法人 全国消防協会
後援 総務省消防庁・全国消防長会

集え！北の大地へ！

RESCUE FIGHTERS

2006 SAPPORO



2006年8月24日

会場 札幌市消防学校・札幌市平岸プール

「集え！北の大地へ！RESCUE FIGHTERS」をスローガンに、第三五回全国消防救助技術大会が去る八月二十四日、札幌市の札幌市消防学校及び札幌市平岸プールにおいて、多くの来賓を迎えて盛大に挙行した。

この大会は、全国の救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識・技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽するために、昭和四十七年から毎年開催しているものであるが、本大会から長い歴史を持つこれまでの内容を大きく変更して再出発する運びとなった。

平成八年に全国消防救助技術大会が開催されて以来、十年振りに津軽海峡をわたり、北の大地さっぼろで開催された本大会は、豊かな自然の息吹と街並みが見事に調和した札幌市をPRすることも、市民に消防を身近に感じてもらい、市民と響けながら災害に強く魅力ある街づくりと、全国の消防隊員、参加者、札幌市民にとって心に深く鮮やかに刻まれる大会を目指して開催した。

この大会は札幌市消防局の主管のもと、道内各消防本部をはじめ、地元の消防団員、NPO団体等の多数の参加をいただき、会場内では、消防・防災に関する「体験ひろば」や札幌市消防科学研究所の一般公開も行なわれていた。

さて、大会当日は朝から曇り空で、これから檜舞台に立つ隊員にとっては少し不安な空模様となったが、一般の方や消防関係者など約一〇、〇〇〇名が早朝より全国各地から駆けつけ、開会前から熱気と興奮に包まれ、隊員たちが繰り広げる熱き大会が始まるのを今か今かと待ち構えていた。午前八時四五分、札幌市消防音楽隊の軽快な演奏に合わせ、国際消防救助隊、緊急消防援助隊をはじめ、全国九地区支部から選抜された九六二名の精鋭たちが堂々と入場し、開催地消防長である徳増札幌市消防局長の開会宣言で大会の幕は開いた。

開会式ではまず、消防使命達成のため殉職された消防隊員の御霊に対して黙とうを捧げた。続いて国旗、大会旗を掲揚した後、大会会長である関口（財）全国消防協会会長、上田札幌市長のあいさつ、高部消防庁長官、高橋北海道知事、大越札幌市議会議長、片山日本消防協会会長（代理・秋本理事長）の祝辞と続き、さらに、大会審判長の吉原北九州市消防局長による審判長指示がなされ、出場隊員を代表して札幌市消防局の菅原消防士が力強く隊員宣誓を行った。

た。開会式の後、訓練が開始されるまでの間、「コンサブリーク 北海道武蔵女子短期大学」による華麗な「よさこい演舞」が披露された。

いよいよ訓練の開始である。全国から選りすぐられた精鋭たちは陸上・水上それぞれの会場において、救助のプロとしての誇りと燃えさかるような熱き魂を胸に、磨き抜かれた技を次々と披露していく。張りつめる緊張、俊敏でしなやかな一糸乱れぬ動き、強靱な体力、昼過ぎから時折降りつける雨という悪条件との闘い……。その懸命な姿に観覧席からは歓声と激励の拍手が鳴り止まなかった。

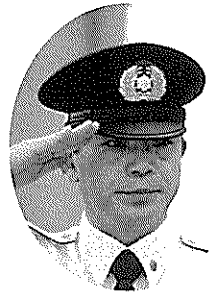
また、水上会場では、厳しい訓練の合間に、昨年結成したばかりの新チームで大学生、社会人を中心に構成された「華澄」によるどこよりもかっこ良く、どこよりも美しい「よさこい演舞」が披露されると、訓練の興奮さめやらぬ隊員にも笑顔が戻っていた。

陸上の部最後の種目が終了し、来年度から実施予定となる技術訓練が、札幌市消防局、東京消防庁、横浜府安全管理局、名古屋市消防局、広島市消防局、松山市消防局の六消防本部により、本大会では訓練内容の周知を目的としたデモンストラーションが披露された。

閉会式が始まるまでの間、札幌市消防音楽隊による特別演技が実施され、閉会式では、大会会長である関口会長から「十分な安全管理の下、参加隊員に怪我もなく無事に大会を終了することができた。大会関係者の皆様にお礼申し上げます。本大会は、陸上の部、水上の部でそれぞれ諸君は日頃鍛え抜いた気力、体力及び救助技術を遺憾なく発揮されたことは大変意義深いことと思う。これを一つの契機とし、今後より一層救助技術の錬磨・向上に努め地域住民の負託に応えられるよう希望する。」との講評があった。国旗降納に続いて、大会旗が徳増札幌市消防局長から次期開催地の関口東京消防庁消防総監に引き継がれ、関口東京消防庁消防総監の次期開催地挨拶の後、開催地消防長である徳増札幌市消防局長が閉会を宣言すると、花火と共に訓練塔に「来年は東京で会いましょう」と幕が出現し、来年の再会を誓い、第三五回全国消防救助技術大会は幕を下ろした。

札幌市消防局の皆様をはじめ、大会運営に当たられました全ての方々に対し、衷心より感謝申し上げます。

挨拶



財団法人 全国消防協会

会長 関口和重

第三五回全国消防救助技術大会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、公務ご多忙のところ、高部消防庁長官、高橋北海道知事をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜り、このように盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。平成八年以来、十年ぶりに津軽海峡をわたり、北の大地さつぼろで開催される本大会は、豊かな自然の息吹と街並みが見事に調和した札幌市を全国にPRするという点からも、また、市民の皆様方に消防を身近に感じて頂くことによる「地域防災力の向上」という点からも、大変意義深いものであります。

これも一重に開催地をはじめ、札幌市消防局及び関係機関の皆様方のためまぬご尽力の賜ものであり、これまでのご努力に対しまして深く敬意を表します。

さて、この大会は全国から選抜された救助隊員が一堂に会し、日頃鍛え抜いた消防救助技術を披露するとともに、互いの知識と技術を交換することにより、ますます複雑多様化する災害現場に即応できる高度な救助技術と強靱な体力、精神力を養い、研鑽を図ることを目的として、昭和四七年から実施しているものであります。

この間、我が国の消防救助技術は、各消防本部並びに関係機関の各種資器材の改良、開発や活用技術の研究はもとより、何よりも隊員皆さんのためまぬ努力と日々の訓練の積み重ねにより、着実に発展、充実を遂げてまいりました。

しかしながら、地域住民の安全を脅かす災害は後を絶たず、昨年十二月に山形県で発生したJR羽越線列車事故では、広域消防応援隊が出動し、活動困難な状況下、長時間にわたり救助活動を実施し、被害の軽減に努めたところであります。

また、先月の梅雨前線による大雨の影響により、土砂災害や冠水被害が相次いで発生し、全国各地に大きな爪あとを残したことは、記憶に新しいところであり、安全に對する住民の関心は、一層の高まりを見せ、消防に寄せる期待は、ますます大きくなっております。

我々消防機関といたしましては、今後も総力を挙げて各種災害の予防と被害の軽減に努め、住民の生命・身体・財産を護るため、全力で取り組んでまいります。

今年度は、開催地出場枠及び都府県・道地区代表制、技術訓練が導入された、言わば新しい全国救助大会の幕開けの年であります。参加隊員の皆さんは、本大会において、安全管理に留意の上、これまでの訓練成果を存分に発揮し、所期の目標を達成するとともに、今後も、より一層救助技術の練磨・向上に努め、地域住民の負託にこたえられるよう切望いたします。

結びに、本日ご列席の皆様をまますまますのご健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。



祝 辞
札幌市議会議長
大越 誠 幸



祝 辞
北海道知事
高橋はるみ



祝 辞
消防庁長官
高部 正 男



あいさつ
札幌市長
上田 文 雄



次期開催地あいさつ
東京消防庁消防総監
関口 和 重

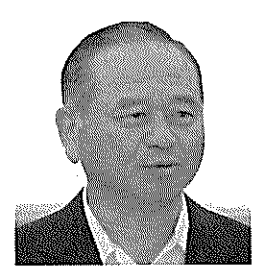
(敬称略)



審判長指示
北九州市消防局長
吉原 伸 二



開会宣言・閉会宣言
札幌市消防局長
徳 増 澄 夫



祝 辞
財団法人全国消防協会会長(代理)
秋本 敏 文

陸上の部

ロープブリッジ渡過(基礎)



水平に展張された渡過ロープ二〇メートル(往復四〇メートル)を往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過する。
ロープ渡過の基本的な訓練。

【標準所要時間一八秒】

表彰者

- 【北海道】 南渡島消防事務組合消防本部 松川 康文
- 南渡島消防事務組合消防本部 齊藤 豪
- 室蘭市消防本部 佐野 晃補
- 【東北】 下北地域広域行政事務組合消防本部 玉田 潤
- 能代山本広域市町村圏組合消防本部 佐藤 崇弘
- 盛岡地区広域行政事務組合消防本部 工藤 直貴
- 村山市消防本部 保科 将
- 仙台市消防局 澤田 孝行
- 相馬地方広域消防本部 川崎 洋平
- 阿賀野市消防本部 前田 俊次

- 【関東】 桐生市消防本部 横倉 大広
- 水戸市消防本部 後藤 允哉
- 吉川松伏消防組合消防本部 杉山 泰人
- 夷隅郡市広域市町村圏事務組合消防本部 君塚 辰也
- 東京消防庁 志賀 祐紀
- 横浜市公安局 鈴木 将人
- 峡南広域行政組合消防本部 丸山 洋
- 松本広域消防局 吉江 利光
- 藤枝市消防本部 海野 敬祐
- 【東海】 尾三消防本部 森木 孝一
- 飛土市消防本部 大門 英喜
- 桑名市消防本部 伊藤 彰朗
- 【東近畿】 魚津市消防本部 上野 浩司
- 金沢市消防局 安原 朋宏
- 嶺北消防組合消防本部 竹内 勝武
- 湖北地域消防本部 世一 丈裕
- 京都市消防局 下釜 文裕
- 山辺広域行政事務組合消防本部 倉西 一弘
- 中内 督貴
- 【近畿】 那賀消防組合消防本部 山下 敬之
- 大阪市消防局 濱口 雄介
- 神戸市消防局 山下 敬之
- 【中国】 津山圏域消防組合消防本部 山本 涉
- 鳥取中部ふるさと広域連合消防局 山本 武志
- 東広島市消防局 堀 高志
- 益田広域消防本部 川崎 光太郎
- 防府市消防本部 藤井 一幸
- 【四国】 丸亀市消防本部 東田 純
- 坂野東部消防組合消防本部 岸本 崇嗣
- 松山市消防局 村井 謙一郎
- 南国市消防本部 濱田 乃輔
- 【九州】 福岡県南広域消防組合消防本部 田中 宏明
- 唐津市消防本部 堤 圭造
- 阿蘇広域行政事務組合消防本部 甲斐 龍太郎
- 別府市消防本部 大石 直和
- 宮崎県東児湯消防組合消防本部 河野 孝之
- 薩摩川内市消防局 上村 幸司

はしご登はん(基礎)



自己確保の命綱を結索した後、垂直はしごを一五メートル登はんする。災害建物への進入等、消防活動には欠かせない訓練。

【標準所要時間一四秒】

表彰者

- 【北海道】 南渡島消防事務組合消防本部 荒木 光男
- 千歳市消防本部 川本 翼
- 北見地区消防組合消防本部 坂下 友也
- 北十勝消防事務組合消防本部 小畑日出雄
- 【東北】 つがる市消防本部 神 陽介
- 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 三浦 寛幸
- 胆江地区消防組合消防本部 佐藤 英和
- 西置賜行政組合消防本部 若山 透
- 石巻地区広域行政事務組合消防本部 佐藤 和仁
- 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部 蟹巻 淳
- 加茂地域消防本部 山崎 祐二
- 【関東】 桐生市消防本部 田中 努
- 足利市消防本部 松葉 俊幸

- 笠間市消防本部 村上 裕之
- 埼玉西部広域消防本部 市川 将吾
- 船橋市消防局 嶋崎 健二
- 東京消防庁 大橋 和雄
- 大和市消防本部 村上 壘
- 富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部 土橋 辰徳
- 松本広域消防局 山口 晋次
- 静岡市消防防災局 近藤 敦
- 【東海】 岡崎市消防本部 松村 武司
- 多治見市消防本部 奥村 聡
- 【東近畿】 富山市消防局 中村 仁志
- 加賀市消防本部 宮田 亮
- 嶺北消防組合消防本部 坪田 五寛
- 湖北地域消防本部 高山 準也
- 京田辺市消防本部 岩本 祐
- 奈良市消防局 岡本 康平
- 田辺市消防本部 龜田 康平
- 【近畿】 大阪市消防局 北御門 将司
- 朝来市消防本部 奥 智明
- 【中国】 倉敷市消防局 川上 浩也
- 鳥取中部ふるさと広域連合消防局 倉本 公之
- 備北地区消防広域行政組合消防本部 岩本 公之
- 出雲市消防本部 龍川 雄治
- 山口市消防本部 吉井 友和
- 原 兆延
- 仲多度南部消防組合消防本部 中川 彰仁
- 徳島中央広域連合消防本部 濱田 忠明
- 今治市消防本部 錦織 正人
- 安芸市消防本部 小原 隆宏
- 【九州】 北九州市消防局 井筒 智昭
- 鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部 榎藤 達弥
- 佐世保市消防局 川崎 真吾
- 天草広域連合消防本部 龍本 一政
- 大分市消防局 佐藤 晶也
- 日向市消防本部 矢野 哲也
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 郷原 英行
- 那覇市消防本部 玉城 良

ロープ応用登はん（連携）



登はん者と補助者が二人一組で協力し、器材を使わずに塔上から垂下されたロープを一五メートル登はんする。
 「標準所要時間一六秒」

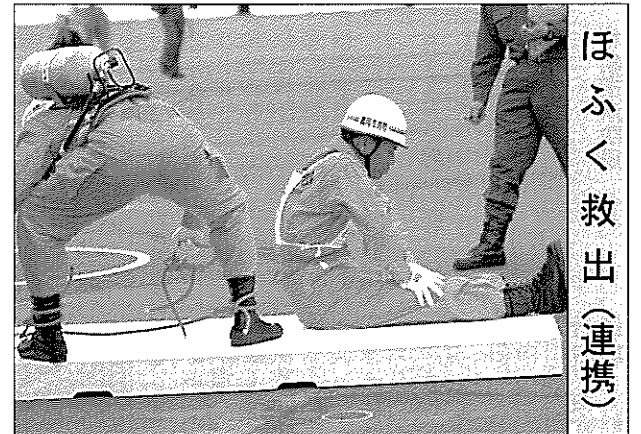
表彰者

- 【北海道】
 南渡島消防事務組合消防本部 佐々木伸彦
 石狩北部地区消防事務組合消防本部 長谷部 力
 北広島市消防本部 中井 貞治
 北広島市消防本部 土生 敦志
 上川南部消防事務組合消防本部 河野 謙作
 上川南部消防事務組合消防本部 高木 芳徳
 北十勝消防事務組合消防本部 菊池 茂治
 北十勝消防事務組合消防本部 大竹 弘祐
 川口 正邦
 伊藤 貴之
- 【東北】
 十和田地域広域事務組合消防本部 三浦 信也
 小森 孝広
 大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 鈴木 一伊

- 盛岡地区広域行政事務組合消防本部 伊藤 貴之
 小笠原電太
 最上広域市町村圏事務組合消防本部 藤澤 優
 高橋 和成
 石巻地区広域行政事務組合消防本部 東海林孝平
 杉浦 大樹
 鈴木 純
 郡山地方広域消防組合消防本部 矢内 智則
 西尾 武志
 渡邊 和幸
 井口 克己
- 【関東】
 桐生市消防本部 田村 修一
 黒田 和義
 石橋地区消防組合消防本部 高山 和行
 高岩 正臣
 稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部 岡田 佳己
 岡田 増夫
 秋谷 誠
 佐藤 昌紀
 熊谷地区消防本部 矢畑 昌紀
 八坂 和広
 大森 樹
 加藤 勇樹
 村上賢一郎
 厚木市消防本部 加藤 岳夫
 小塩 智大
 秋山 雅斗
 望月 康喜
 柳沢 直樹
 高塚 大輔
 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部 久保田 淳
 芹澤 勇樹
- 【東海】
 豊川市消防本部 小倉 数馬
 吉原 達郎
 山県市消防本部 清水 智也
 川田 利彦
 恵土 敏彦
 松山 泰弘
- 【東近畿】
 砺波広域圏消防本部 久恵 洋平
 後藤 恭崇
 三輪 正人
 白山石川広域消防本部

- 高島市消防本部 中島 賢一
 宮田 俊勝
 藤井 裕也
 吉田 尚央
 藤木 満也
 椎木 嘉史
 仲田 昌史
 森田 正行
 芦原 孝典
 堀 正行
 八木 栄次
 片岡 栄次
 笹倉 隆史
 豊福 和孝
- 【近畿】
 橋本市消防本部 橋本 尚也
 大阪府消防局 八木 正人
 片岡 栄次
 笹倉 隆史
 豊福 和孝
- 【中国】
 笠岡地区消防組合消防本部 木村 祥大
 萩井 祐也
 鳥取県東部広域行政管理組合消防本部 奥田 泰三
 石破 雅行
 山田美記男
 河野 和男
 中村 達郎
 川本 勝彦
 中原 一成
 兼森 一禎
- 【四国】
 三観広域行政組合消防本部 高橋 純
 今井 臣
 羽坂 武
 湯浅 栄信
 青井 孝文
 神戸 和也
- 【九州】
 遠賀郡消防本部 上田 一彦
 伊龍 史郎
 山田 忠訓
 小鉢 人司
 松村 真光
 渡邊 博幸
 岡田 長栄
 山本 和裕
 黒木 卓磨
 田中 誠人
 松永 勝義
 新垣 元氣
 徳元 将史
- 熊本市消防局
 佐伯市消防本部
 日向市消防本部
 薩摩川内市消防局
 沖繩市消防本部

ほふく救出（連携）



三人一組（要救助者を含む）で、一人が空気呼吸器を着装して長さ八メートルの煙道内を検索し、要救助者を屋外に救出した後、二人で安全地点まで搬送する。ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練。
 「標準所要時間一分一〇秒」

表彰者

- 【北海道】
 南渡島消防事務組合消防本部 北畠 大
 山田 義孝
 青木 尚寿
 砂田 勝徳
 塚田未来大
 佐々木和幸
 河原 康利
 深瀬 利洋
 横山 論
 岡田 肇
 松林 正悟
 高橋 敬介
 福井 康二
 保土澤 巧
 阿部 寛史
- 登別市消防本部
 深川地区消防組合消防本部
 北後志消防組合消防本部
 南宗谷消防組合消防本部

釧路東部消防組合消防本部

池田 健三
各務 圭太
伊藤 英樹

【東北】
板柳町消防本部

工藤 周治
八木 朝彦
伊藤 健悟

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部

高橋 篤
小山田 芳成
高橋 秀明

盛岡地区広域行政事務組合消防本部

薄衣 崇
大坪 賢一
野村 貴裕

山形市消防本部

栗原 俊裕
黒沼 義之
河合 英人

塩釜地区消防事務組合消防本部

小島 隆志
小岩 恵一
熊合 雅典

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

千葉 大則
川田 哲也
小原 久典

新発田地域広域事務組合消防本部

馬場 政彦
渡邊 一成
武者 大樹

【関東】

多野藤岡広域市町村圏整備組合消防本部

大野 辰志
鈴木 健正
神田 崇弘

栃木地区広域行政事務組合消防本部

榎山 貴史
琴寄 英二
佐山 英章

鹿島南部地区消防事務組合消防本部

服部 勝美
今井 友洋
稲毛 隆明

所沢市消防本部

藤巻 修一
富張 裕
染谷 厚

香取広域市町村圏事務組合消防本部

向後 健司
鈴木 敏文
林 宏之

東京消防庁

向山 崇
杉野 聖高
杉本 宙也

座間市消防本部

遠藤 美津弘
堀川 哲次
青沼 佳希

東山梨行政事務組合東山梨消防本部

前田 修
向山 克也
武井 国男

千曲坂城消防本部

合津 仁司
佐藤 純也
山本 晃正

吉田町牧之原市広域施設組消防本部

高橋 秀雄
大高 智明
吉中 智則

【東海】

西春日井広域事務組合消防本部

安藤 武士
青木 一樹
武市 浩二

岐阜市消防本部

近松 勝吾
豊田 圭太郎
山口 吉成

松阪地区広域消防組合消防本部

伊藤 正弥
山口 吉成
玉野 勝也

【東近畿】

高岡市消防本部

北島 秀起
大納 大
横山 昂史

奥能登広域圏事務組合消防本部

谷内 隆浩
中村 隆広
安達 慎太郎

福井市消防局

鈴木 修
坪井 尚人
岩崎 竜哉

湖南広域行政組消防本部

岡崎 幸久
西村 幸久
山本 景一

京丹後市消防本部

井上 忠司
木下 夢大
増田 俊則

【近畿】

柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

川口 聡一
福永 博之
平尾 征士

伊丹市消防局

田尻 薫
正司 園伸一
岩崎 寛

【中国】

津山圏域消防組合消防本部

久常 和範
曾田 康司
水島 大介

鳥取県東部広域行政管理組消防本部

竹内 慎也
森本 慎
今嶋 竜彦

府中町消防本部

赤塚 竜彦
小田 上武史
飯原 典彦

益田広域消防本部

福田 稔彦
田原 万貴
桐田 紀幸

岩国地区消防組合消防本部

塩田 修久
松崎 孝之
平林 資士

【四国】

高松市消防局

鈴江 拓也
岡 康仁
岡川 勢司

板野東部消防組合消防本部

岸本 崇嗣
蔭 知宏
角瀬 敏雄

土佐清水市消防本部

岡崎 泰史
梅本 公朗
和泉 公朗

【九州】

鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

森園 健一
中川 原啓太
西村 淳一

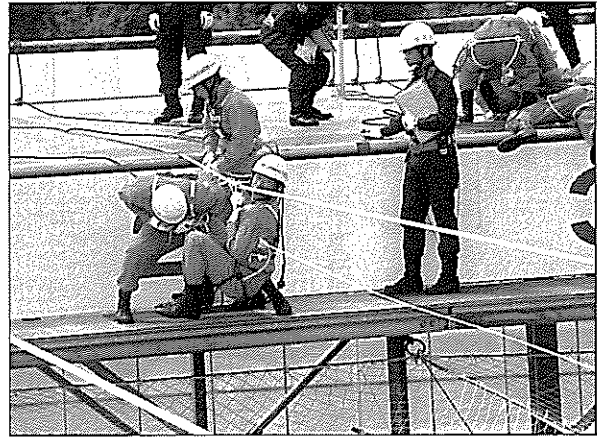
串間市消防本部

溝口 勝規
甲斐 忍
山口 直比古

鹿児島市消防局

上罐 明彦
今釜 友和
小村 稔

ロープブリッジ救出(連携)



四人一組(要救助者を含む)で、二人が水平に展開された渡過ロープ(2.0メートル)により対面する塔上へ進入し、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引して救出した後、脱出する。要救助者を隣の建物等から進入し、救出することを想定した訓練。

【標準所要時間一分一五秒】

表彰者

【北海道】

下田 大輔
鹿内 達也
池田 大起
竹内 佑介
篠原 健

札幌市消防局

旭川市消防本部

若木 達也
伊藤 憲宏
和田 竜彰
有澤 利彰
坂部 幸弘

【東北】

黒石地区消防事務組合消防本部

中村 貴志
佐藤 尚樹
山田 開右
三橋 憲之
熊谷 正

一関市消防本部

塩釜地区消防事務組合消防本部

猪股 久寿
藤野 裕哉
齋藤 正
齋藤 裕哉
蜂谷 和彦
長崎 和彦
本野 康新
畑中 克文

【関東】

鹿沼市消防本部

宮本 憲司
蓬田 一
菅沼 義弘
小林 孝史
笠原 孝史
加藤 泰輔
齋藤 郁夫
宮下 和也
野崎 浩行
市川 昌寿
山崎 良太
中野 知亮
武田 秀一
正谷 健策
武井 正樹
仁木 考志
加藤 泰一
高橋 泰一
古橋 康則
相田 守博
張替 貴人
中台 直人
柿田 祐輔
浅井 祐崇
黒瀬 友雄
柳下 栄寛
梅木 雅史
早川 努

秩父消防本部

所沢市消防本部

比企広域消防本部

松戸市消防局

習志野市消防本部

浦安市消防本部

横浜市安全管理局

田方消防本部

【東海】

岡崎市消防本部

本巣消防事務組合消防本部

【東近畿】

湖北地域消防本部

東近江行政組合消防本部

吉野広域行政組合消防本部

【近畿】

大阪市消防局

加古川市消防本部

【中国】

広島市消防局

江津邑智消防組合消防本部

【四国】

八幡浜地区施設事務組合消防本部

坂野 幸太郎
玉川 篤史
平井 正和
熊谷 佳和
園部 元康
土屋 昌弘
青木 祐
坂本 諭信
兵藤 史章
中根 佳久
野崎 真一
堀口 淳
林 幸一
乙部 完治
森 大輔
岡村 勝彦
下居 源康
下山 彰久
辻森 寛
伊崎 寿之
蒲生 巨孝
中村 徹也
辻 博司
森口 博司
橋本 隆清
裏西 寛昭
大西 寛
西田 和人
富澤 良彰
副島 大輔
黒木 賢一
橋本 靖洋
鈴木 良裕
松岡 千成
南海 公男
中土 潤
渡辺 将彦
満田 賢一郎
中野 智也
坂本 秀宏
坂本 秀樹
平床 和輝
山本 和輝
佐々木 真哉

【九州】

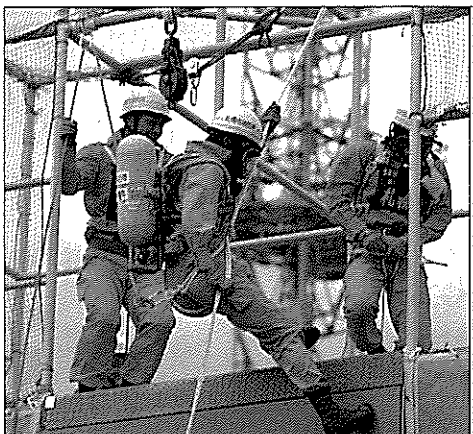
人吉下球磨消防組合消防本部

天草広域連合消防本部

宇城広域消防本部

玉岡 高也
中野 友博
紀伊野 崇
大木 金敏
高原 慎二
岩本 靖則
谷川 正晃
瀧本 一政
小林 隆伸
松下 幸一郎
大山 尚文
中山 博満
大高 秀樹
藤田 雅和
奥村 国博

引揚救助(連携)



五人一組(要救助者を含む)で二人が
空気呼吸器を着装して塔上から塔下へ降
下し、検索後、要救助者を塔下へ搬送し、
四人で協力して塔上へ救出した後、ロー
プ登はんにより脱出する。地下やマン
ホール等での災害を想定した訓練。
〔標準所要時間二分三〇秒〕

表彰者

【北海道】
札幌市消防局
木村 友治
伊藤 研

【東北】

二戸地区広域行政事務組合消防本部

郡山地方広域消防組合消防本部

【関東】

川越地区消防局

埼玉県南西部消防本部

松戸市消防局

横浜市安全管理局

藤沢市消防本部

相模原市消防本部

【東海】

岡崎市消防本部

長畑 竜司
中島 健太
大村 健太
高峯 将喜
本堂 優
平 智和
駒木 英信
中里 祐輔
佐藤 知則
今村 智彦
鈴木 俊作
高橋 克拓
新田 雅一
矢澤 孝武
中村 優
秋澤 祥史
外川 友樹
轟 君昭
富岡 義博
高橋 雅光
高橋 広和
石井 康一
種田 一夫
竹内 康雄
藤井 洋智
鈴木 健吾
菊池 順一
青木 里志
小金井 幸男
井戸田 潤
表 和宏
高部 雅由
安藤 弘之
大沢 友宏
福島 正臣
釣谷 信一郎
羽谷 浩章
平本 友和
落合 克己
川尻 祐介
今西 武聡
原田 恵太
加藤 貴俊

豊田市消防本部

【東近畿】
西和消防組合消防本部

【近畿】
堺市高石市消防組合消防本部

枚方寝屋川消防組合消防本部

【中国】
光地区消防組合消防本部

【四国】
徳島中央広域連合消防本部

【九州】
筑紫野太宰府消防組合消防本部

糸島地区消防厚生施設組合糸島消防本部

佐野 雄一 廣瀬 大輔 安津 和也 安江 志幸 薄井 貴博 浅井 英喜 廣瀬 貴之 田中 玄善 鳥野 克彦 仲田 光洋 森川 太郎 北西 竜也 植野 道晶 青木 孝晴 丸岡 孝泰 西野 光義 池浦 雅之 鳥井 貞治 上田 貞晶 栗田 佳和 長谷川 弦登 山内 崇 松岡 信哲 藤井 哲 河本 猛 林 智則 福本 慎司 赤松 洋行 三橋 卓也 久保 卓也 楠 卓也 羽野 和之 徳永 貴司 山本 健治 川辺 剛聖 井福 尊寛 糸島 昌宏 瀬戸 昌宏 浦上 昌宏 郷原 真一 須原 拓也 秋根 一太

中津市消防本部

障害突破（連携）



五人一組（補助者を含む）で四人が緊密な連携の下、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通る」の基本動作により五つの障害を突破する。災害現場の様々な障害を想定した訓練。

〔標準所要時間三分一五秒〕

表彰者

中野 康博 江島 寛和 玉浦 邦治 井上 健悟

【北海道】
札幌市消防局

旭川市消防本部

【東北】
仙台市消防局

雨堤 亮 春日 大輔 山内 知也 大山 純弥 菅原 康明 上原 大樹 坪川 洋平 清水 宏樹 田中 優之 中村 一広 平塚 一広

福島市消防本部

新潟市消防局

【関東】
川口市消防本部

さいたま市消防局

松戸市消防局

東京消防庁

横浜市安全管理局

藤沢市消防本部

【東海】
岡崎市消防本部

園部 哲也 黒田 昌樹 佐藤 伸弥 大平 雄太 安齋 淳紀 阿部 裕学 二階堂 和弥 梅津 雅一 若月 貴晴 仲石 貴樹 伊藤 貴一 落合 崇 金子 晋次 矢内 朋弘 土屋 英明 辻 直人 谷島 雅弥 伊藤 秀墨 松葉 信幸 芳賀 裕一 高橋 勝利 遠田 裕保 倉持 隆三 矢野 克嗣 野村 貴之 五十嵐 雄馬 浅田 勉 飯島 直之 長田 知弥 日比谷 岳徳 奥山 祐介 奥山 鉄平 佐藤 幸平 玉山 和哉 川畑 一平 高橋 哲弥 中田 慶太 朝倉 慶一 加藤 慶一 丸橋 貴広 青山 孝行 谷中 潤一 佐藤 聡 野中 聡

【東近畿】
京都市消防局

生駒市消防本部

【近畿】
柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部

神戸市消防局

【中国】
岩国地区消防組合消防本部

【四国】
高知市消防局

【九州】
北九州市消防局

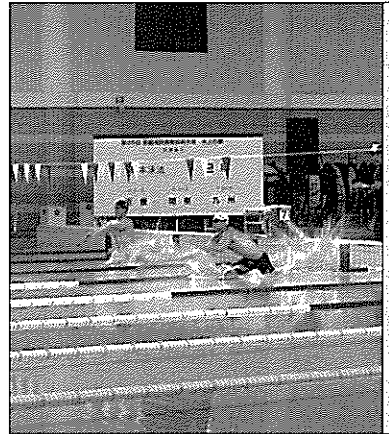
筑紫野太宰府消防組合消防本部

天草広域連合消防本部

岩本 達也 中村 優佑 中山 真人 本山 友宏 藤原 誠悟 新谷 卓士 松井 卓三 久保田 浩三 駒井 享司 中尾 剛志 岡野 耕司 宮下 喜順 中村 亮 水門 浩一 石崎 親一 立脇 龍也 貝澤 大介 上原 拓真 山根 知樹 藤村 直樹 小林 浩介 小野 浩行 松永 浩行 菅野 修二 神埼 健太 西内 優智 武田 哲和 岡部 文一 山崎 謙吉 津曲 俊宏 東田 和明 城田 二郎 松永 敏治 本村 圭二 安部 敏治 井ノ上 明広 石川 善章 中村 匡志 浦上 一誠 山下 匡一 宮崎 久嗣 辻 圭史 田中 孝幸

◆水上の部◆

基本泳法（基礎）



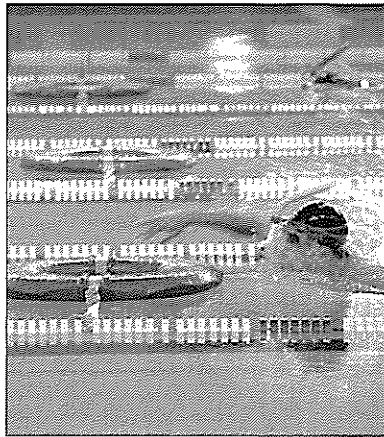
「じゅんか飛び込み」で入水した後、常に顔が水面に出た状態で、基本的な泳法である「ぬき手」と「平泳ぎ」でそれぞれ二五メートルずつ泳ぐ。水難救助の基本的な泳法を習得するための訓練。

〔標準所要時間四〇秒〕

表彰者

- 【東北】 下北地域広域行政事務組合消防本部 八代 圭
- 仙台市消防局 千葉 典史
- 福島市消防本部 持地 明典
- 【関東】 埼玉県南西部消防本部 宮尾 晋悟
- 市川市消防局 伊藤 隆行
- 東京消防庁 田中 宏樹
- 東京消防庁 柴崎 昭宏
- 横浜安全管理局 澤田 匠
- 川崎市消防局 阿部 慶之
- 茅ヶ崎市消防本部 竹田 友祐
- 浜松市消防本部 濱口 太郎
- 焼津市消防防災局 岡田 渉
- 【東海】 名古屋消防局 坂上 嘉則
- 岡崎市消防本部 岩崎 允史
- 【近畿】 白川石川広域消防本部 小坂 寛之
- 大津市消防局 吉田 達矢
- 京都市消防局 大橋 史明

複合検索（基礎）



マスク、スノーケル、フィンを着装し、スノーケリングで障害物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められたリング四個を検索して、引き揚げる。水中の行方不明者の搜索を想定した訓練。

〔標準所要時間四〇秒〕

表彰者

- 【近畿】 大阪市消防局 西川 暢彦
- 枚方寝屋川消防組合消防本部 西口 幸仁
- 【中国】 福山地区消防組合消防局 北浦 友一
- 呉市消防局 濱田健太郎
- 【九州】 大分市消防局 末松 一彦
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 西園 康介
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 内村 哲也
- 静岡市消防防災局 神谷 雅英
- 田方消防本部 川口 貴之
- 【東海】 知多市消防本部 篠田 昌裕
- 知多市消防本部 片山 清勝
- 【東近畿】 湖南広域行政組合消防本部 上田 真樹
- 湖南広域行政組合消防本部 川端 勝敏
- 京都市消防局 松川 智則
- 【近畿】 守口市門真市消防組合消防本部 乾 雅法
- 守口市門真市消防組合消防本部 秋田 尚也
- 【中国】 尼崎市消防局 秋田 尚也
- 東広島市消防局 永松 康宏
- 海田地区消防組合消防本部 四方 司
- 【四国】 三観広域行政組合消防本部 川端 中
- 【九州】 鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部 黒田 聡
- 高遊原南消防組合消防本部 日置 啓一
- 【北海道】 札幌市消防局 阿部 雅之
- 札幌市消防局 田中 聡子
- 【東北】 福島市消防本部 黒羽 啓之
- 新潟市消防局 山本 信宏
- 【関東】 千葉市消防局 榎本 信宏
- 東京消防庁 三橋 亮
- 横浜安全管理局 新濱 秀樹
- 横浜賀市消防局 葉山 昭彦
- 相模原市消防本部 吉田 健一
- 相模原市消防本部 滝浦 良樹
- 相模原市消防本部 直井 源
- 相模原市消防本部 中村真由美
- 相模原市消防本部 石田 拓也
- 相模原市消防本部 萩原香那紀
- 【東海】 名古屋市消防局 富成 正彦
- 大府市消防本部 林 宗之
- 大府市消防本部 中野 雅巳
- 【東近畿】 京都市消防局 岡村 智周
- 【近畿】 枚方寝屋川消防組合消防本部 西口 幸仁
- 枚方寝屋川消防組合消防本部 畠中 宏聡
- 守口市門真市消防組合消防本部 吉本 親央
- 守口市門真市消防組合消防本部 山星 賢一
- 【中国】 海田地区消防組合消防本部 谷本 瑞樹
- 高松市消防局 橋爪 喜信
- 【四国】 高松市消防局 稲田 和之
- 熊本市消防局 細谷 祐介
- 【九州】 熊本市消防局 上嶋 菅嗣
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 森田 笑加
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 西園 康介
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 内村 哲也

表彰者

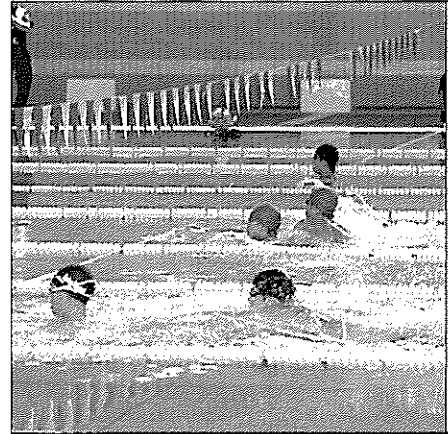
溺者搬送（団体）

二人一組（要救助者を含む）で、救助者が「じゅんか飛び込み」で入水後、要救助者（溺者）を注視しながら近づき、チンプールで確保した後、ヘアーキャリーにより救助する。

〔標準所要時間四二秒〕

- 【北海道】 札幌市消防局 阿部 雅之
- 札幌市消防局 田中 聡子
- 【東北】 福島市消防本部 黒羽 啓之
- 新潟市消防局 山本 信宏
- 【関東】 千葉市消防局 榎本 信宏
- 東京消防庁 三橋 亮
- 横浜安全管理局 新濱 秀樹
- 横浜賀市消防局 葉山 昭彦
- 相模原市消防本部 吉田 健一
- 相模原市消防本部 滝浦 良樹
- 相模原市消防本部 直井 源
- 相模原市消防本部 中村真由美
- 相模原市消防本部 石田 拓也
- 相模原市消防本部 萩原香那紀
- 【東海】 名古屋市消防局 富成 正彦
- 大府市消防本部 林 宗之
- 大府市消防本部 中野 雅巳
- 【東近畿】 京都市消防局 岡村 智周
- 【近畿】 枚方寝屋川消防組合消防本部 西口 幸仁
- 枚方寝屋川消防組合消防本部 畠中 宏聡
- 守口市門真市消防組合消防本部 吉本 親央
- 守口市門真市消防組合消防本部 山星 賢一
- 【中国】 海田地区消防組合消防本部 谷本 瑞樹
- 高松市消防局 橋爪 喜信
- 【四国】 高松市消防局 稲田 和之
- 熊本市消防局 細谷 祐介
- 【九州】 熊本市消防局 上嶋 菅嗣
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 森田 笑加
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 西園 康介
- 大隅肝属地区消防組合消防本部 内村 哲也

人命救助（連携）



三人一組（要救助者を含む）で救助者が「二重もやい結び」のロープをたすき掛けにして要救助者の位置まで泳ぎ、要救助者をクロスチエストキヤリーで確保し、補助者が救助ロープをたぐり寄せて救助した後、再び水没しつつある要救助者（訓練人形）を水面に引き揚げ、救助する。

〔標準所要時間一分二秒〕

表彰者

【北海道】
札幌市消防局

竹谷 朋之
花田 直人
高木 正宏

【東北】
八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部

高畑 芳和
金濱 哲哉
岡本 健児

【関東】
横浜市安全管理局

兼重 裕三
持田 隆
大西 精一

川崎市消防局

安 敬史
辻 学
山本 浩

【東海】
岐阜市消防本部

足立 真規
佐藤 裕二

【東近畿】

中吉野広域消防組合消防本部

日下部 陽亮
小林 大悟
東久保 光秀

【近畿】
大阪市消防局

山田 健一

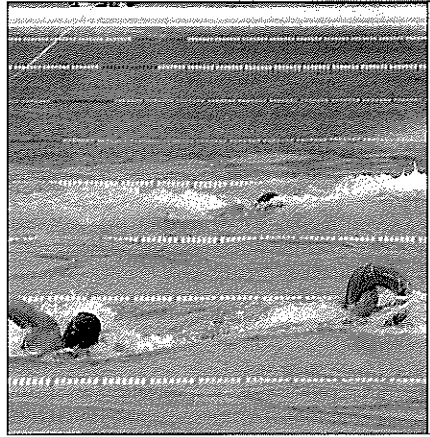
【中国】
広島市消防局

西川 暢彦
松吉 伸明
平松 拓也

【九州】
天草広域連合消防本部

彌益 耕平
奥村 耕次
州濱 成自

溺者救助（団体）



三人一組（要救助者を含む）で救助者と補助者の二人が協力して浮環にロープを結着後、補助者が浮環をプール内へ投下して救助者が二メートル先の要救助者の位置まで搬送し、これに要救助者をつかまらせ、補助者がロープをたぐり寄せて救助する。

〔標準所要時間四三秒〕

表彰者

【北海道】
函館市消防本部

田中 義之
山田 啓介

札幌市消防局

齋藤 正人
河津 朋之
竹谷 勝

【東北】
鶴岡地区消防事務組合消防本部

今野 輝喜

福島市消防本部

山口 和人
西村 友太
佐藤 大資

【関東】
越谷市消防本部

新開 行弘
吉成 真吾
竹村 俊幸

横浜市安全管理局

澤田 健司
堀越 芳和
高橋 明

川崎市消防局

道法 良一
竹谷 誠
栗原 祐二

横須賀市消防局

金子 泰大

【東海】
岐阜市消防本部

日下部 陽亮
見澤 嘉紀
石原 伸吾

【東近畿】
京都市消防局

佐藤 正和
大槻 浩久
竹内 完治

【中国】
笠岡地区消防組合消防本部

香西 辰哉
谷本 成範
吉田 知展

【近畿】
神戸市消防局

田村 弥久
佐藤 太紀
土屋 貴裕

【四国】
高知市消防局

小西 雅士
松崎 健太
浦 伸吾

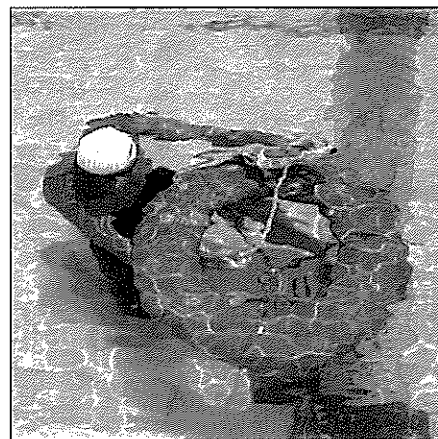
【九州】
鳥栖・三養基地区消防事務組合消防本部

松尾 好保
井田 真也
篠原 義尚

熊本市消防局

服部 大輔
石田 堅二
千場 和貴

水中結索（連携）



三人一組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された三種のロープ結索を行う。水中におけるロープ結索技術を習得するための訓練。

〔標準所要時間二分〕

表彰者

【東北】
いわき市消防本部

岩倉 一将
中軍 慶之
平子 信吾

【関東】
市川市消防局

森川 英輔
市川 隆行
伊藤 慎二

船橋市消防局

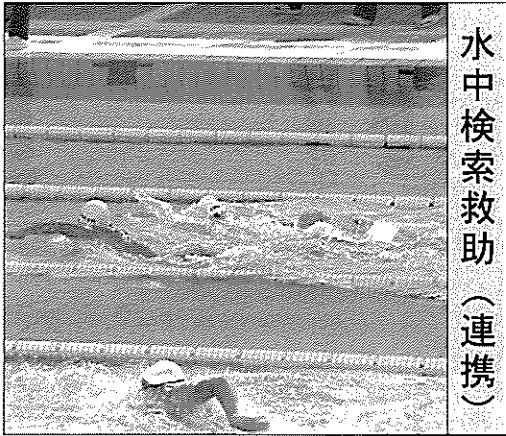
小林 信秀
秋武 史裕
川島 正裕

横浜市安全管理局

酒部 冬樹
阿部 行政
内山 岩登

浜松市消防本部

稲垣 進哉
稲垣 匡史



水中検索救助（連携）

【東海】
岡崎市消防本部

【東近畿】
大津市消防局

【近畿】
大阪市消防局

【中国】
笠岡地区消防組合消防本部

【四国】
大洲地区広域消防事務組合消防本部

【九州】
長崎市消防局

人吉下球磨消防組合消防本部

中根 肇
岩崎 允史
戸塚 淳哉
黒島 和司
澤田 将人
山中 創
堂本 昌裕
泉 良宣
山崎 和幸
藤井 淳
土屋 貴裕
川崎 正人
高岡 秀彰
宇都宮 一哲
道岡 将
森 憲一
上田 勝海
吉田 龍生
中川 博文
西川 隆浩
藤 欣弥

四人一組で第一泳者が水面を、第二泳者が水中をそれぞれ検索し、水没している要救助者（訓練人形）を発見して水面へ引き揚げた後、第三泳者と第四泳者が協力して対岸の救出地点まで搬送し、救助する。

〔標準所要時間一分四二秒〕

表彰者

【東北】
いわき市消防本部

【関東】
東京消防庁

横須賀市消防局

【東海】
大垣消防組合消防本部

【東近畿】
京都市消防局

【近畿】
大阪市消防局

【中国】
松江市消防本部

【四国】
高松市消防局

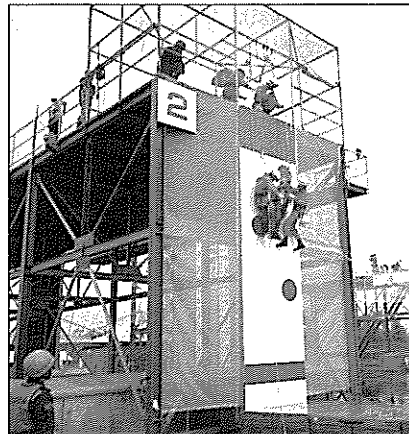
【九州】

空岡 実
中軍 慶之
猪狩 光博
平子 信吾
山本 章人
山口 剛
菊地 太
武田 晃太郎
中島 聖
佐藤 正和
木村 洋士
藤川 幸博
森 郁介
横山 裕一
中川 雄二
中島 宏夫
嶋田 貴樹
井上 武
井上 健司
佐藤 正和
菅尾 幸司
大濱 修太郎
橋本 聡
東園 絢也
伊藤 眞次
松尾 行洋
安部 伸
津森 一宏
長尾 弘之
川田 哲郎
細谷 祐介
湊谷 義和

高遊原南消防組合消防本部

日置 啓一
福岡 雄樹
西岡 治彦
荒牧 竜治

技術訓練（陸上の部）



定められた救助方法や資器材に縛られることなく、創意工夫のもとで、より安全で迅速・確実な訓練を発表するもので、今大会では、訓練内容の周知を目的としたデモンストレーションが、六消防本部により実施された。

表彰者

【陸上の部】
札幌市消防局

横浜市安全管理局

川島 達彦
中林 克哉
庄田 匠
佐藤 貴光
中野 岳人
藤井 義和
山村 一夫
高橋 啓太
早川 美
丸茂 裕美
古谷 敏夫
本多 隆樹
田辺 政之
御所 佑介
中村 浩子

名古屋市消防局

松山市消防局

倉橋 邦充
松野 晋司
起田 実
早瀬 裕志
肥沼 規
山根 友規
安川 和志
渡部 幸雄
竹内 健太
宮田 健太

技術訓練（水上の部）



表彰者

【水上の部】
東京消防庁

広島市消防局

内藤 伸幸
外山 正成
加藤 昌明
中山 博至
飯塚 陽介
大城 由克
平石 甚大
芦川 尚也
渡部 雅文
中本 政浩
森田 純也
佐藤 剛史
定本 友樹

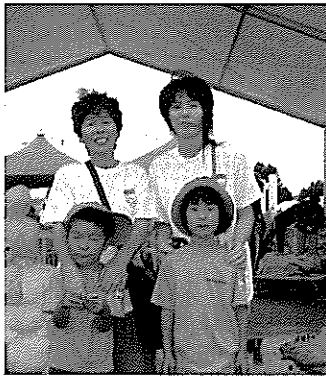
インタビュー

★江島さん親子(そら君、るか君)(大分)
 主人が中津市消防本部の職員で全国大会(引き上げ救助)にはじめて出場するので3人で応援に来ました。
 会場にきて圧倒され、大きなビジョンで見る事が出来て涙が出そうなくらい感動しました。
 将来お父さんのようにになりたい。(そら君)



江島さん親子
 (そら君、るか君)

★岩本さんご一家
 (なつきちゃん、かずき君、おばあちゃん)
 (鳥取)
 主人(鳥取中部ふるさと広域連合消防局)がはしご登はんに出場するため、はじめて応援に来ました。出場者の中で最年長との事。今まで一生懸命に練習をする姿を見てきたので、応援していて緊張しました。
 人命に関わる大事な仕事なので、体に気を付けてこれからも頑張つて欲しい。



岩本さんご一家
 (なつきちゃん、かずき君、おばあちゃん)

★本巢さん、松山さん(北海道)
 救助隊員の知り合いがいるので、どんなことをやっているのか興味があつて見に来ました。
 ロープブリッジ渡過を見ていてすごく早く、あれが実際の現場で活かされているのかと思うとすごいと思った。
 人の命を預かっている重みのある仕事なので、責任をもつて迅速に活動して欲しいと思う。



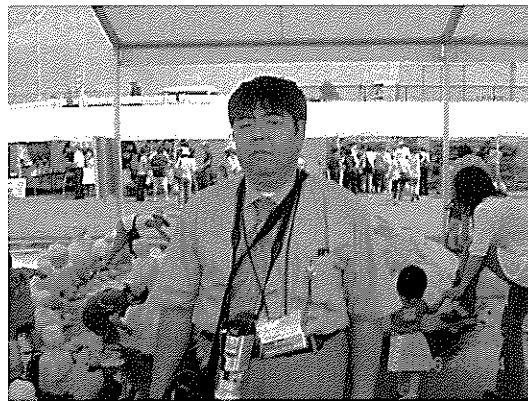
本巢さん、松山さん

★栗原さん、高石さん(山形)
 栗原さんのご主人がほふく救出に出場する為、姉妹で応援に来られたそうです。この大会を最後に引退するとのことなので、がんばつて応援しました。普段家でも訓練する姿を見ていたので、緊張もしましたが応援できて満足です。
 体が資本の仕事なので心配な面もあるが、人のために何事にも頑張つて欲しい。私たちが本場の活動現場を見ることがなかなかないので、こういう大会での訓練を通して、消防への信頼感が伝わってきて良かったです。



栗原さん、高石さん

★美唄自然エネルギー研究会 浅川さん
 (体験コーナー担当)
 この雪は冬に降つたものを美唄人材センターの敷地で保存していたものです。保温材としてかぶせている木材が雪と混ざつてしまつて少し黒くなつていますが、夏まで保存しておけば、貴重な資源としてマンションや老人介護施設での雪冷房また、旭山動物園ホッキョクグマ館やそのようなイベントなどでも利用できます。消防には普段、お世話になることはありませんが、緊急時に対応してもらえることが訓練の様子を見ていてわかるので、とても安心しました。



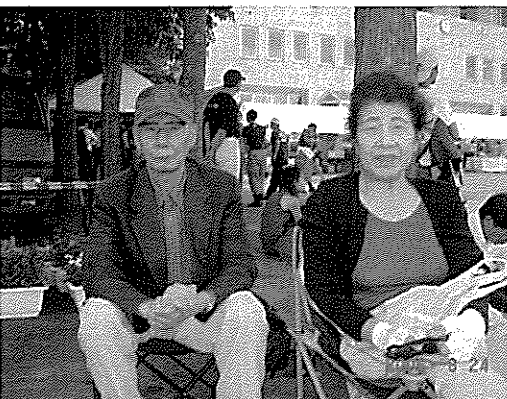
美唄自然エネルギー研究会 浅川さん

★札幌市西消防署西消防団 女性団員の皆さん
 子供(?)のような救助隊員たちが、きびきびと訓練する姿はとても素晴らしい。
 受付・案内の仕事を通して、来場された全国のみなさんと交流できてうれしい。「なまら(とても)、大変でした。」
 消防団に入団して、仲間が増え、地域の住民との交流があり、かつ、人のために役立つし、自分のためにもなる活動ができて良かったです。



札幌市西消防署西消防団 女性団員の皆さん

★竹内さんご夫妻(富山)
 孫が札幌市の消防職員で全国大会3回目の出場になります。訓練が終わるまで心配で冷や冷やしながら応援していました。消防の仕事は、火を消すことだけではなく、人助けもあり、大事なことです。素晴らしいことだと思います。



竹内さんご夫妻

★火災予防技術を学ぶために来日されている皆さん(ジョアムさん、メリさん、モンドさん、アトゥコアラさん(スリランカ))

これほど大規模な訓練会を見て驚きました。自国の訓練をさらに向上させるため、仲間に是非伝えたい。

レスキューは人間が人間を救う、とても人間味あふれる仕事だと思います。私もレスキューに携わっていることを誇りに思っています。

このような素晴らしい大会は、技術の向上はもちろん、「消防・救助」を国民にPRする絶好の機会だと思います。人命を救うという尊い使命感をもって訓練するすべての出場隊員が勝者であると思っています。

自国にも地域の大会はあるが、このような全国規模の大会はないので、日本の素晴らしい大会を自国に伝えたい。



火災予防技術を学ぶために来日されている皆さん(ジョアムさん、メリさん、モンドさん、アトゥコアラさん)

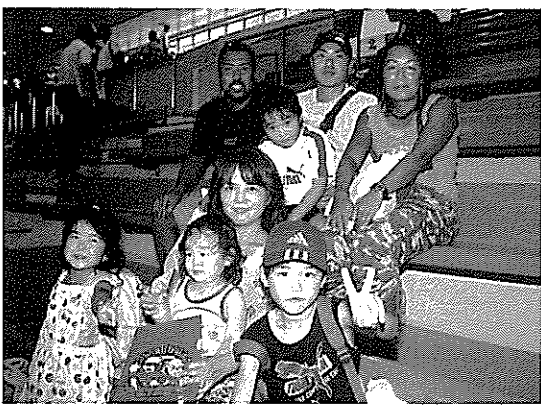
★吉田さん親子(優香ちゃん、萌香ちゃん、輝雅君)(神奈川) パパの応援に来て、はしご車搭乗体験しました。

「怖くありませんでしたか？」 異口同音に「楽しかったー!!」 また、乗りたい」とのことでした。



吉田さん親子(優香ちゃん、萌香ちゃん、輝雅君)

★上野さん、浜口さん、松村さん 札幌市内のプールで水泳仲間です。いつも練習に行くプールで今大会のポスターを見て、全国の水難救助のプロフェッショナル達が集まる大会だと知り、来てみました。ロープさばきや潜水など、やっぱり凄いですね。(ちびっ子達)「いっぱい練習して、隊員さん達みたいに上手になります!!」



札幌市内のプール仲間たち

人命救助に

熱い血潮を燃やし続ける

ヒーローたち

消防士達におくる

財団法人全国消防協会

全国消防グループ保険(生命保険)

全国消防グループ傷害保険

財団法人全国消防協会は消防職員皆様の福利厚生事業として、
「割安な保険料で大きな保障を」を合言葉に
 消防職員のために特に開発した様々な保険商品をご提案し、
 全国で約5万人以上の消防職員とご家族に加入していただいています。
 また、この保険事業から得られる収益は、
 全国消防救助技術大会ならびに、9地区支部における消防救助技術指導会の
 開催などの公益事業に大きく活かされています。

保険に関するお問合せは 生命保険 0120-119-147 傷害保険 0120-065-988
 までお気軽にお電話ください。

よさこい演舞で
会場は一気に沸騰!

全国大会では「よさこい演舞」が行われ、フィールドいっぱいになり盛り上げられた情熱的な舞が隊員をはじめ来場者を魅了した。

演舞途中ではよさこい衣装の法被を脱ぎ捨て、チアリーダーに変身した踊り手がポンポンを両手に飛び跳ねると踊りも最高潮に達した。演舞を披露してくれたのは、「コンサフリーク」こと北海道武蔵女子短期大学のみなさん。

「ここ札幌に全国各地から足を運んでくれた方に観てもらえて本当に良かったです。今回のような広い会場とこんなに大勢の観客を前にして、最初はドキドキでしたが、始まると気分よく踊れました。観客が多ければ多いほど踊りやすく、自然にリズムにものつてきます」とコンサ



よさこい演舞を披露するコンサフリーク



いつも笑顔・元気いっぱい北海道武蔵女子短期大学のみなさん

フリーク代表を務める大井苑加さん。同じく副代表を務める武井彩香さんは「これまで見たことも聞いたこともない大会だったもので、何だかわからないまま見に来たものの、救助隊の迫力、機敏さに感動しました。何よりも、かっこよかったです」と北海道地区救助指導会を見学した時の様子を話してくれた。地区大会は全国大会への切符がかかっていると聞いた彼女たちは、全国にかける救助隊の意気込みを肌で感じた瞬間、今年六月に出場した全国大会「北海道よさこいソーラン」を思い出したとのこと。

全国出場という同じ志に共感を持った彼女たちもまた練習に妥協を許さず、演舞までの道のりでは厳しい日々が続いた。普段は大学の講義が終わってから行う二時間ほどの練習も、大会本番が迫ってくると夜九時・十時まで打ち込んだ。「特別演技は消防の全国大会ということで、さらに気を引き締めてがんばりました。私たちもそうですけど、消防の方は本当に努力をしているなと感じました」と大井代表は話す。

最後に救助隊に一言――

「私たちはチアリーダーの衣装を着ると気持ち引き締まりますが、救助隊の方もあのオレンジ色の服に身を包むとさらにステキになりますね。これからもがんばってください」。大会へ大きなプレゼントをくれたコンサフリークの演舞。その華麗なる舞は爽やかな風となつて救助隊員の心にもいつまでも響いていった。

ようこそ!

体験ひろばへ

真夏の雪あそび

全国消防救助技術大会には、防災を実感できる体験型イベントが併設された。体験ひろばに足を踏み入れると大会会場のある熱気が一気にクールダウン。それもそのはず、なんとひろばに雪がある。「これは今冬北海道に降った雪で、美



体験ひろばには雪だるまが飾られた



札幌市消防局予防部のみなさん

唄自然エネルギー研究会からのプレゼントですよ」と札幌市消防局予防部予防課小嶋防火安全係長が話してくれた。冬の厄介者は、夏の貴重な資源として冷房や農産物の冷蔵など冷熱源として利用されているとのことである。しかし、なぜと尋ねると、「体験ひろばは予防部で行っています。当初、この六月に施行された住宅用火災警報器を重点に広報しようとの企画があったが、この北国に全国から来ていただいた方が何を、何に、何に触れて、楽しんでいただくか、それを真剣に考えた時、やはり北海道の雪だと自然に答えが出ました」と小嶋係長が答えてくれた。真夏の雪あそびが楽しめるのは、これぞまさに究極の体験である。同じく防火安全係の森さんはこう語る「救助大会がメインではありませんけど、私たちは火災予防啓発を怠りません。予防部一丸となつて頑張っています。札幌市消防局予防部のパワーが雪を解かすのではないかとヒヤヒヤした。

どれにしようかな？

北国防火衣コレクション

カラフルで力強い防火衣に目を輝かせていた青年がいた。「よかつたら着てみて」札幌市消防局森川さんが声を掛けた。すると、嬉しそうな顔でどれにしようか迷っていた。どちらの消防本部か尋ねてみるとまだ学生とのこと、「将来は…」と尋ねると「いずれはこの防火衣に身を包んで第一線で活躍したい」と未来の消防士は力強く話してくれた。北海道消防の防火衣がずらり飾られた防火衣コレクションは、消防への憧れを増幅させるに違いないコーナーである。「北海道内の消防本部さんに企画を打診したところ、すぐに快くご協力頂き大変感謝しています」と森川さんが北海道消防の結束力を話してくれた。

ドアが開かない！

地下浸水体験

水圧によってドアが開けられなくなることをどれだけの方が知っているのか。地下浸水体験では、あの痛ましい地下室水害事故を連想させ、その恐ろしさを体験できるコーナーである。「みなさん床上四〇cmの浸水まではドアを開けることができます」と札幌市消防局俵谷さん。体験したほとんどの市民が確かに四〇cmでは



水圧のかかったドアを必死に開けようとするが…

扉を開けていた。しかし、力いっぱい踏み張るものの開かない、それが、水位四五cmである。「たった五cm増やしただけでドアが開かなくなりました。部屋の広さなど状況にもよりますが、水かさ五cm上がるのにそんなに時間はかかりません。その差で逃げ場を失うのです。ですから、いかに早く逃げるかがカギ。この五cmの差でみなさん本当に驚いています。地下浸水の恐ろしさを分かっています。ただれたと自負しています。」と俵屋さんが衝撃的な事実を説明してくれた。本当に開かなかった。体験しないとわからないことがあると改めて感じた。

災害サイバル入門！

防災活動体験



災害救援ネットワーク北海道のみなさん

「この炊き出し装置で一五〇食分の汁物ができます」と話すのは災害救援ネットワーク山口幸雄代表。すぐに出来上がるから待っていてと言われ、待つことたったの三〇分。一五〇食分が三〇分という短時間で完成するのである。一口ずつ試してみるとこれが絶品。災害という窮

地でこれを出されたらどんなに嬉しいか。汁に入っていたお餅のような食感の具材を尋ねると、大地の恵をたっぷり受けた北海道のジャガイモをすり、団子状にして冷凍保存しているとのこと。「ジャガイモ団子汁」は豚汁よりも安価で、何よりも完成したことがすぐにわかるのが特徴。イモ団子を汁に入れると、最初は汁の中に沈み、その団子が浮かんできたら出来上がり。子供のお手伝いも期待できる手軽さである。

通常の炊き出しにはガスボンベを使った大釜で作るものが多い。だが、この炊き出し装置は釜とヒーター部、燃料タンク（軽油）がセットになっている。しかも車輪付きで移動も可能。名古屋の水害にも出動して好評を得た炊き出し装置に今後の期待が高まる。

消防科学研究所

一般公開

電気実験

実験時間まで待つつもりで入ったトッキング実験。しかし、数人集まった



実験後に市民からの質問に丁寧に答える五十嵐さん

ところで間髪入れずに実験に入った。「とやかく説明しているよりも見て感じていただいた方が、みなさんわかってもええです。どの方も実験に見入っていましたから」と札幌市消防科学研究所五十嵐さん。確かに、物々しい研究施設に緊張した面持ちで入ってきた市民も実験を一見すると、五十嵐さんへの質問も自然に飛び出していった。これこそが市民との真のコミュニケーションである。

危険物確認試験

研究所を進み危険物コーナーに入ると、耳をふさいでいる方がいた。たった二ミigramの危険物固体に対する落球実験の最中であつた。「すごい爆発音がしますので、心臓の悪い方はお気をつけ下さい」と札幌市消防科学研究所伊藤さん。すごいコーナーに来てしまったと思つたら、みなさんもおっかなびっくりの表情。しかし目だけはしっかりと実験用落球に向けていた。「実験では、いかに興味を持たせるか、そしてわかりやすい表現で説明する、このことを常に心掛けています。しかし、つい普段の難しい言葉を使ってしまう。それがダメなんです」と話す伊藤さん。来所した市民のみなさんを釘付けにした伊藤さんには、人を引き付けるパワーが危険物の破壊力以上にあつた。



伊藤さんの巧みな話術に聞き入る市民

大会ダイジェスト



第35号 平成18年9月25日発行